

『R7.3.24 提出要望書』と『夢のような辻原づくりアンケート結果』を合わせた要望内容一覧

	課題分野	期間	要望内容
生活への思いに対する要望	5・日常生活に必要な施設 (商店、病院など) 1・人口減少と少子高齢化 8・公共交通機関の整備、充実 9・高齢者・障害者への支援 15・公園など子どもの遊び場の整備 11・自然環境の保全・美化	メモリアル 建設までに 実施	辻原地域に子供が集まれる場所を整備 ・全天候型公園の新設＝辻原公園 ・ウォーキングコースの新設 街灯が少なく暗くなると怖いし危ないため、街灯を増設し安全対策の実施 少子高齢化対策として、リニア工事作業員の定住に繋がるまちづくりを実施 通学路を整備し子供たちが安全に過ごせる環境づくり実施 障害者施設「飛翔の里」をもっと子供の発達に関わる機能を充実させて、共生社会に繋げる。 今の環境にメガソーラーは望まない ※(全体意見)新しい施設を取り入れながら辻原らしさを残して欲しい
		メモリアル 建設後も引 き続き実施	高齢者でも積極的に外出でき車が無くても移動できる地域づくり※辻原地域は車が無いと生活できない地域 ・コミュニティーバスの運行 ・公共交通機関の充実 地籍調査を実施し「住みよい・住みたい」辻原地域にする 車が無くても生活できるようデパートやスーパーの誘致 幼稚園や小学校を近くに新設。住んでみたい地域になる。若い家族が集まり活性化する。
インフラ整備要望	17・道路、橋梁、河川の整備、維持 管理 4・交通安全	メモリアル 建設までに 実施	今でも庚申様の前交差点が危ないため更新様の前交差点整備 農道～工業までの道路が狭いため道路拡張整備 恵那峡ロードの庚申様前交差点付近の見通しが悪いため、メモリアル候補地側へ道路をふって見通しを良く する安全対策 開発に伴い不規則な交通環境となっており大きな事故が起きないか不安。歩行者、自転車、車の区別された 道路整備 五ツ峯～中畑線を八十八ヶ所のところから恵那峡ロードへ直線で結び、木村氏宅西側を通り白山神社裏に新 たに道路を通すルート整備 ※(全体意見)既存の道路整備だけを考えるのではなく、災害時を想定した道路整備を進める
		メモリアル 建設後も引 き続き実施	辻原川はため池の浸水想定区域に指定されているため、災害発生に備え護岸整備実施 (※延長が長い時間がかかる)
防災対策要望	3・防災・防火、災害時の対応 2・地域の防犯、治安の向上	メモリアル 建設までに 実施	単なる公園を新設するのではなく、防災設備を備えた公園を整備 ※防災設備は、(備蓄倉庫、耐震性貯水槽、揚水ポンプ、かまどベンチ、太陽光発電設備、など) 防災公園を活用して地域の防災訓練を実施 災害時北部体育館だけでは避難生活ができないため、辻原地域に避難場所、防災拠点を整備
地域コミュニティ要望	13・地域コミュニティづくり 27・町内会の活性化 23・地域の伝統芸能・祭りの継承や 保存	メモリアル 建設までに 実施	防災機能を併せ持つクラブ建替え クラブ建て替えと一緒に、1組出身の故荻野真記念館を建設 集会場の維持管理費が懸念されるため、集会場はメモリアル内に設け行政が維持管理 大正時代から始まった辻原地域の開拓と地域の伝統祭事の継承
観光、 商工業促進要望	16・観光、商工業の促進 10・健康づくり	メモリアル 建設までに 実施	火葬場の温熱を利用した温水施設やアスレチックの新設 ふるさと納税で健康食品や健康グッズを提供
		メモリアル 建設後も引 き続き実施	健康食、薬膳、ヘルシー、ダイエットなど提供する健康グルメ館を新設 周辺地域の発展を促す目的にコンパクトシティ化を目指す 坂本北部に行けば、健康、長生きの秘訣があるという健康ゾーンとして作り出す ・恵那峡ロードをウェルネスロードとして整備 ➢恵那峡ロード沿いクリニック誘致 ➢高齢者の通所・入所施設の誘致 ➢北部地域は高齢福祉施設、障害者施設があるため、関連企業誘致 ➢地域包括ケア推進拠点の整備 区画整理された場所、新設道路途中の土地に住宅、工場の立地を発展させる 北部地域には新たな「衣・食・住」に関わる施設並びに体感・体験ができ、人の集える空間の整備
農林業対策要望	19・農林業の促進 20・農地の保全、維持管理	メモリアル 建設までに 実施	辻原1組は末端のため西部用水の水量確保に苦勞するため、用水の改善 辻原2組ポンプ施設が老朽化し今後の継続が心配なため施設の整備 10年・20年先、更に高齢化が進み『農業従事者不足』『耕作放棄地』が増え、獣や火災の心配が増すた め、空農地の体験型利活用など農地の保全対策実施
		メモリアル 建設後も引 き続き実施	リニア開通を視野に、近隣で生産される農産物を中心に販売できる「道の駅」新設 他に活用ができるよう農業振興地域を緩和 ※(理由)農業収入が上がらないため農地の担い手がない。シカやイノシシその他の動物等の被害で作 物が作れない。『耕作放棄地』対策、『移住定住』対策、『地域活性化』対策、全てに繋がる。